

「分かち合い」

1) はじめに

- i) 25章全体は終末についての話
- ii) プロテスタント派における終末論の扱い                      ドイツ農民戦争（1525年）以降～
- iii) 本文について関連する項目…救い・教会・信仰  
      特に教会における「分かち合い」に焦点をおいて考えたい

2) ポイント    正しい人たちは、「いつ、そのことをしましたか」と答えた（37～39節）

3) 説明

- i) 良い行いとは…
  - ・良心的に読めばあたりまえの事として、理解しやすい
  - ・律法的に読めば救いの根拠は「良い行い」と理解
  
- ii) 根拠なのか、証拠なのか…
  - ・裁判をモデルにしている
  - ・「主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇蹟をたくさん行なったではありませんか。」（マタイ7：22）
  
- iii) 良い行いの本当の根拠とは何か？    良い行いとは何か？
  - ・「わたしたちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、わたしたちが良い行いに歩むように、その良い行いをもあらかじめ備えて下さったのです。（エペソ2：10）
    - ・キリスト・イエスにあって造られた者
    - ・（良い行いは）備えられたもの
  - ・根拠は「イエスを信じる信仰」であり「良い行い」はその実
    - ・ちょうどガラテヤ5：22で言うように、信じる者と聖霊の實の関係の様なもの
    - ・「いつ、そのことをしましたか？」のわけ、聖霊の臨在を示す余地がある
    - ・本文につづく後半部分の神の「いつくしみときびしさ」をもう一度味わうことが必要